

事例番号:320200

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第一部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 36 週 4 日 胎児心拍数陣痛図上、一過性頻脈は確認できないが、基線細  
変動を認める

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 2 日

11:10 胎動減少および腹部緊満感あり受診

11:12- 胎児心拍数陣痛図上、基線細変動の減少および一過性徐脈を認  
める

12:00 胎児機能不全のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 37 週 2 日

12:55 胎児機能不全のため帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 臍帯巻絡あり(頸部 2 回)

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 2 日

(2) 出生時体重:1800g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:実施なし

(4) Apgar スコア:生後 1 分 2 点、生後 5 分 6 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)

(6) 診断等:

出生当日 新生児仮死、新生児遷延性肺高血圧症、右大脳出血、播種性血管内凝固症候群

(7) 頭部画像所見:

出生当日 頭部超音波断層法で右側脳室後方に血腫を疑う所見

生後 12 日 頭部 CT で、前方優位に大脳白質の低吸収域を認め、低酸素性虚血性脳症の所見、および右頭頂部深部白質で右側脳室体後部壁近傍に血腫を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 3 名、准看護師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 36 週 4 日以降、入院となる妊娠 37 週 2 日までの間に生じた胎児の低酸素や虚血、および脳実質内出血による中枢神経障害であると考えられる。

(2) 胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、胎盤機能不全および臍帯圧迫による臍帯血流障害の両方の可能性がある。

(3) 脳実質内出血の原因を解明することは困難であるが、胎児の脳の低酸素や虚血との関連性を否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 37 週 2 日、胎動減少および腹部の張りを訴える妊産婦が受診した際の対応(超音波断層法、分娩監視装置装着)は一般的である。

(2) 「原因分析に係る質問事項および回答書」によると、妊娠 37 週 2 日 11 時 40 分頃、胎児機能不全と診断し帝王切開を決定したことは一般的である。

(3) 「原因分析に係る質問事項および回答書」によると、帝王切開決定から 1 時間 15 分後に児を娩出したことは一般的である。

(4) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

(1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸)については一般的である。

(2) 低出生体重およびファローゼのため、高次医療機関 NICU へ搬送したことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 事例検討を行うことが望まれる。

【解説】 児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

(2) 血液ガス分析装置がない場合には、臍帯動脈血を採取し、搬送先 NICU に測定を依頼するなどの方法が望まれる。

【解説】 「原因分析に係る質問事項および回答書」によると、本事例では血液ガス分析装置を保有しておらず臍帯動脈血ガス分析を実施することができなかったとされているが、血液ガス分析装置がない場合は、臍帯動脈血を採取し氷温に保存、NICU 搬送時に渡し、NICU で測定してもらうこともひとつの方法である。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推察される事例を集積し、原因や発症機序についての研究を推進することが望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

陣痛発来前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推察される事例の発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、

学会・職能団体への支援が望まれる。